



このマークは社会福祉協議会の「社」を意匠化し、「手をとりあって、明るいしあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

いわき市 社会福祉協議会だより

第156号
令和7年9月12日発行
発行・編集

社会福祉法人
いわき市社会福祉協議会
いわき市平字菱川町1番地の3
(いわき市社会福祉センター内)
TEL0246-23-3320 FAX0246-35-5031
ホームページ <https://www.iwaki-shakyo.com>
メールアドレス master@iwaki-shakyo.com

令和7年度 福島県共同募金会 赤い羽根共同募金運動スローガン

最優秀賞作品

やさしさが 未来を創る 赤い羽根



目 次

今年も共同募金にご協力をお願いいたします	2
役立ちました！共同募金	3
報告します 令和6年度事業報告・決算	4～5
ボランティア活動センター通信	6
社協通信	7
地区協議会だより	8

愛ちゃんと希望くん



© 中央共同募金会

今年も共同募金にご協力をお願いいたします



社会福祉法人
福島県共同募金会
いわき市共同募金委員会
会長 古川 兼良

市民の皆さまには、共同募金に温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が、地域の行政嘱託員、民生・児童委員の皆さまをはじめ、多くの団体にご協力をいただき、市内各地で展開されます。

お寄せいただきました募金は、福島県共同募金会の配分委員会の承認を得て、本市の地域福祉を推進する社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体、障がい者団体、さらには大規模災害時の支援や見舞金として配分されています。

また、歳末たすけあい募金は、歳末時期に支援を必要とする世帯に対し、見舞金や介護用品等を支給するため活用されています。

本市共同募金委員会では、民間の社会福祉事業や地域福祉活動への助成を通し、制度の狭間にある様々な福祉課題の解決に向けて支援するとともに、誰もが住み慣れた地域で暮らし続ける社会を目指し、関係機関との連携・協働により、福祉のまちづくりに努めて参りますので、皆さまの特段のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



共同募金(歳末たすけあい募金を含む)は、社会福祉法に定められている民間の募金活動です。募金期間は厚生労働大臣の告示により10月1日から翌年3月31日まで全国一斉に行われます。

令和7年度 いわき市の目標額



© 中央共同募金会

赤い羽根共同募金 4,467万3,000円
歳末たすけあい募金 2,329万6,000円

- 赤い羽根共同募金は、一戸あたり500円を目安としております。
- 歳末たすけあい募金は、一戸あたり300円を目安としております。

共同募金は民間社会福祉施設、団体の施設整備や福祉事業に配分することを目的として、使いみちの計画を立ててから行うため、目標額が設定されています。

“ありがとう”メッセージ

認定特定非営利活動法人 なこそ授産所
自立生活きらきら



皆様のやさしさに “感謝”

私たちは障がいがある方の生活援助や自立支援を行う事業所です。

共同募金の配分を受けて送迎・外出等に使用する車両を購入させていただきました。

また、私たちは、地域の方々に私たちの活動を理解していただくために、毎年多くの行事に参加し交流を行っています。

私たちの“ありがとう”的気持ちが多くの人々に伝わり、やさしさが広がることを願っています。

役立ちました！共同募金

令和6年度
実績額

赤い羽根共同募金 4,484万4,014円
歳末たすけあい募金 2,333万8,724円

お寄せいただいた募金は、福島県共同募金会に集められ、配分委員会の審議を経て、県内の福祉施設や福祉団体などへ配分される仕組みになっています。



© 中央共同募金会

●赤い羽根共同募金の使われ方●

いわき市には、総額 3,163万円が配分されました。

① 安心して利用しやすい福祉施設づくりとして 8 施設へ 1,668万円が配分されました。

(単位：万円)

受配施設名	配分額	配分金の使途	受配施設名	配分額	配分金の使途
特定非営利活動法人 わくわくネットいわき ゆいまーる・ふくしま	108	送迎用軽自動車整備事業	特定非営利活動法人 いわき自立生活センター 生活介護事業所アライブ	269	送迎用車両 (車椅子仕様車) 整備事業
社会福祉法人 希望の杜福祉会 けやき共同作業所	228	送迎用車両整備事業	社会福祉法人 ゴールデンハーブ ちいしば	127	送迎用軽自動車 (車椅子仕様車) 整備事業
特定非営利活動法人 生涯就労センター 生涯就労支援センター	281	送迎用車両整備事業	社会福祉法人 育成会 みなみテラス	225	送迎用車両整備事業
認定特定非営利活動法人 なこそ授産所 自立生活きらきら	209	送迎用車両整備事業	社会福祉法人 いわき福音協会 障がい者支援施設力ナン村	221	浴室改修事業

② 社会福祉協議会活動を推進するために 1,481万円が配分されました。

(単位：万円)

受配団体名	配分額	配 分 金 の 使 途
いわき市社会福祉協議会	1,481	地域福祉活動・在宅サービス事業など

③ 災害や緊急事態に対する見舞金として 罹災者に 14万円が贈られました。

(単位：万円)

	配分額	配 分 金 の 使 途
災害見舞金	14	火災による 罹災者への見舞金

●歳末たすけあい募金の使われ方●

いわき市には、総額 1,448万円が配分され、市内の低所得世帯などの皆さまへ届けられました。(単位：万円)

配分などの区分	配分額	配 分 金 の 使 途
見 舞 金	596	生活困窮世帯(467世帯) * 在宅のひとり暮らし高齢者、障がい者、ひとり親世帯など
地域福祉事業	852	防水シーツ(100世帯)や高齢者世帯への健康情報カレンダー配布、児童養護施設入所者お年玉支給など

報告します 令和6年度事業報告・決算

本会では、第4次地域福祉活動計画に基づき、「住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき」の実現に向けて、関係機関・団体などとの協働のもと地域に密着した福祉サービスの拡充に努めるとともに、適正な予算執行に努めました。

実施した主な事業

地域福祉事業

●住民支え合い活動づくり事業

第2層協議体会議の開催…35回

住民支え合い生活支援サービスの実施…29件

●住民支え合い事業 市内55地区指定

●支え合い福祉マップ作成事業 4地区

●緊急連絡カード(兼)医療情報キット配備事業

配備者数…6,407人

●つどいの場創出支援事業の実施

市内272箇所 実施回数…6,141回

延参加者数…64,413人

●子育てサロン事業

実施箇所数…19箇所

実施回数…202回

延参加組数…1,079組

●年末年始 地域ささえあい助成事業

助成団体数…23団体

助成額…123万8,000円

●地域子育て支援拠点事業

延利用者数…大人 3,311人

子ども 3,418人

相談件数…114件

●車椅子同乗移送用自動車の貸し出し

延利用件数…346件

ボランティア活動センター事業

●ボランティア相談 相談件数…49件

●児童・生徒向け福祉体験プログラム 30回

参加児童・生徒数…1,600人

福祉総合相談事業

●福祉総合相談 相談件数…3,399件

●無料法律相談 相談件数…73件

生活困窮者支援事業

●生活・就労支援センターの運営

相談件数…334件

●生活困窮者生活サポート事業

たすけあいフードバンク事業…27世帯

一時的食糧等支援事業…115世帯

乳幼児のいる世帯支援事業…8世帯

D V被害者支援事業…50件

就職活動準備支援事業…延べ件数20件
(利用人数9人)

●就労体験事業…2人

●七五三お祝い支援事業…2人

●クリスマス支援事業…22世帯

●親子ふれあいバスハイク事業…5世帯(12人)

権利擁護事業

●日常生活自立支援事業

契約件数…20件(利用人数84人)

●法人後見事業

受任件数…9件

貸付事業

●生活資金 貸付件数…206件

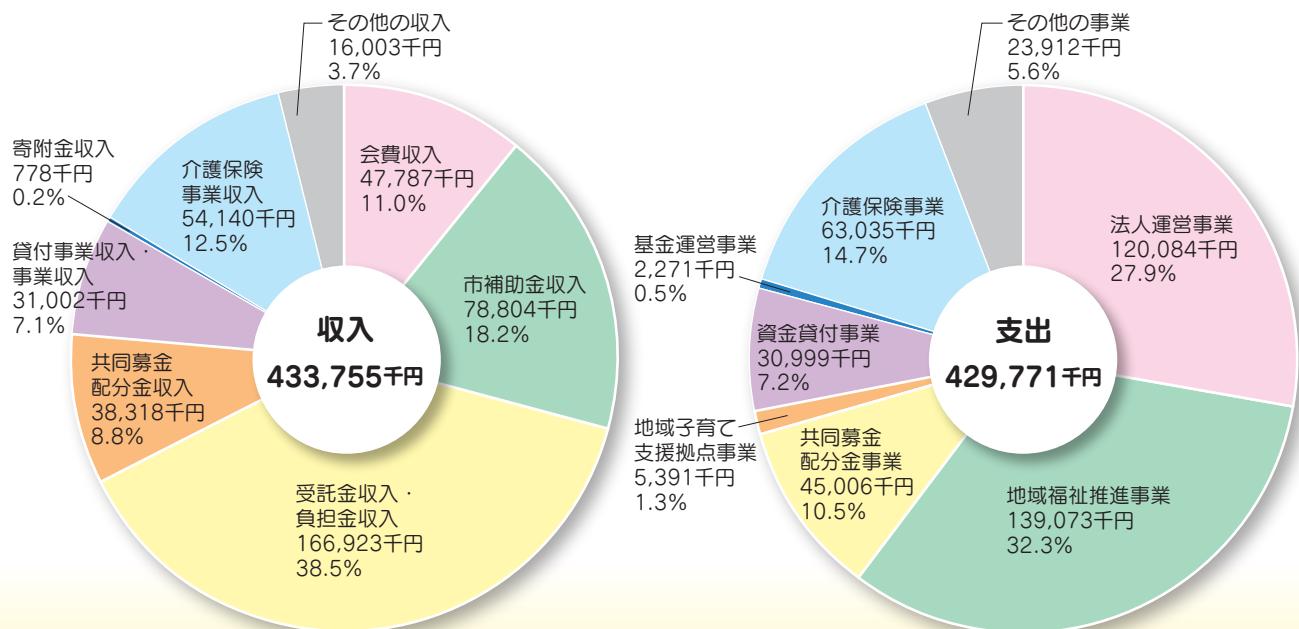
(貸付総額 343万1,540円)

●生活福祉資金 貸付件数…68件

(貸付総額 1,143万6,000円)



令和6年度 収入・支出のあらまし



市内9校から43名が参加！

ボランティア活動センター通信

第34回 サマーショートボランティアスクール！

例年、高校生を対象に、夏休みの期間を利用して、市内の福祉施設等で3日間ボランティア体験を行い、自分たちが住む地域社会の福祉の現状や課題を理解し、今後のボランティア活動への積極的な参加を促すことを目的に開催しています。



福島県地域防災センターの講話



活動の様子

今年度は、7月23日(水)に開校式を行い、福島県地域防災センターを講師に迎え、防災意識を高めるため「マイ避難推進講習会」を開催しました。災害時に自分や家族を守るために行動や、助け合いの重要性について学び、参加した高校生たちは、防災への関心と理解を一層深めた様子でした。

その後、活動にあたっての説明を受け、受け入れ施設ごとのミーティングを実施しました。身近な場所から始められるボランティアの可能性に触れ、参加者の今後の活動意欲を高める機会となりました。

この体験活動の場をご提供いただき、高校生たちを温かく受け入れてくださいました福祉施設及びボランティア団体の皆さんに、心より感謝申し上げます。

★参加高等学校（9校）

いわき総合高等学校	いわき湯本高等学校	磐城高等学校
磐城桜が丘高等学校	磐城第一高等学校	磐城農業高等学校
翔洋学園高等学校	平商業高等学校	東日本国際大学附属昌平高等学校

敬称は省略させていただきました

★協力施設（24施設）

いわき育英舎	いわき育成園	小川保育所	小島保育園
カンガルーひろば	亀齢荘	蓬田保育所	古湊保育所
寿限無	聖徳荘	第2ちゃーむ	高砂荘
どんぐり	錦保育所	虹のかけはし	にじの郷
はまなす荘	久之浜保育所	福島整肢療護園	ポポロ
みなみテラス	宮保育所	悠々の里	渡辺保育所

敬称は省略させていただきました

★協力団体（3団体）

いつだれボランティア会	いわき声の奉仕グループ	要約筆記いわきサークル
-------------	-------------	-------------

敬称は省略させていただきました

「災害ボランティア養成研修会」開催のお知らせ

災害時に求められる役割や災害ボランティアセンターについて理解を深め、有事の際に活躍できる人材を育成することを目的に開催します。

災害ボランティアに関心のある方、ぜひお申込み下さい！

参加費
無料

日 時

- (1)基礎編 10月26日（日）午前9時30分から正午まで
(2)実践編 11月15日（土）午前9時30分から正午まで

会 場

いわき市社会福祉センター

各30名



申込み・お問い合わせ先 ボランティア活動センター ☎38-6631まで

お困りごとはありますか？

日常生活の中で抱える生活課題や困りごとに対応するため、住民同士が共に支え合い、助け合うための仕組みとして「住民支え合い生活支援サービス」を実施しています。

ゴミ出しや電球交換などでお困りの方は、最寄りの地区協議会までお気軽にお相談ください。



また、お手伝いにご協力いただける方（センター）も募集しております。

お問い合わせ先 地域福祉課 ☎23-3320(代)まで



令和8年度(令和7年度実施)職員募集のお知らせ

令和8年4月1日採用の正規職員(事務職)を募集します。



1 採用予定人数 2名程度

2 資格要件 次の(1)(2)のいずれにも該当する方

(1)平成3年4月2日以降に生まれた方で、学校教育法による大学(短期大学を除く)
もしくはこれらと同等と認める学校等を卒業した方、又は令和8年3月までに卒業見込みの方。

(2)普通自動車免許(A T限定可)を有する方、又は令和8年3月までに取得見込みの方。

3 受付期間 令和7年9月1日(月)から令和7年10月3日(金)まで

(土・日・祝日は、受付不可)

※郵送の場合は、令和7年10月3日(金)必着

4 試験及び試験日 一次試験(教養試験・適性検査・小論文) 令和7年10月12日(日)

二次試験(個別面接 ※一次試験合格者のみ) 令和7年10月下旬頃

お問い合わせ先 企画総務課 ☎23-3320代まで

第51回 いわき市総合社会福祉大会開催のお知らせ

いわき市といわき市社会福祉協議会の共催により、福祉施設・団体・ボランティアなど福祉関係者及び市民の方々が一堂に会して、いわき市の福祉を高めていく「いわき市総合社会福祉大会」を開催いたしますので、ぜひご参加ください。



日 時 令和7年11月26日(水) 午後1時30分から

会 場 いわき芸術文化交流館アリオス アルパイン大ホール(いわき市平字三崎1番地の6)

内 容 ◆表彰・感謝状贈呈 ◆記念講演

お問い合わせ先 地域福祉課 ☎23-3320代まで

みやぎ生協・コープふくしま様より 食糧品の寄付をいただきました。

令和7年8月8日に、みやぎ生協・コープふくしままで掲げている「誰もが安心して暮らせる地域・社会を目指す」といった取り組みの中でフードドライブを行い、集まったレトルト食品・カップラーメン・調味料など、計300点の寄付をいただきました。



ご相談
ください

生活・就労支援センター

生活・就労支援センターでは、生活や仕事のことなどでお困りの方からの相談を受け、困りごとの解決に向けて、関係機関と連携しながら、一人ひとりの生活状況に合わせた継続的なサポートを行っています。

まずはお話を聞かせてください

こんなお困りごとはありませんか?ご家族のことでもご相談ください。



引きこもりの子どもの
将来が不安



仕事が
うまく続かない



収入が減って
家賃が払えない



仕事が
見つからない



借金の返済で
生活が苦しい

お問い合わせ先

生活・就労支援センター ☎38-6500(直通)まで

✉ seikatsu-shien@iwaki-shakyo.com

地区協議会だより

市内13地区(平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久)に地区協議会を設置し、『住み慣れた地域で共に生き、支え合い、誰もが安心して、健康で自分らしく暮らせるまち いわき』を基本理念に、地域住民の福祉ニーズに合ったさまざまな事業を実施しています。

常磐地区協議会(ふれあい・ともいき映画観賞会)



認知症や障がい者への理解を深めることを目的に、6月29日、いわきゆったり館にて常磐・遠野地区包括支援センターとの共

催で開催しました。

当日は、48名が参加し、映画を通じて認知症や障がいについて学ぶとともに、参加者同士の交流も生まれました。参加者からは「考えるきっかけになった」「今後もこうした機会があれば参加したい」といった声が寄せられました。

◆詳しくは、常磐地区協議会 ☎43-2119(直通)まで

好間地区協議会(児童・生徒のふくし教室)



共生社会の実現を目指し、福祉への理解を深めるため、5月13日に好間第二小学校において、4年生45名を対象に開催しました。

当日は、福祉推進委

員や住民支え合いサポーターなどの協力のもと 福祉施設「サンシャインよしま」の職員を講師に迎え、高齢者や障がいのある方との関わり方を学びました。児童からは「困っている人に声をかけたい」といった感想が寄せられ、思いやりの心を育む貴重な機会となりました。

◆詳しくは、好間地区協議会 ☎36-2221(代)まで

遠野地区協議会(男の料理教室)



地域の男性の交流と介護予防を目的に、6月1日、上遠野公民館において開催しました。

当日は、8名が参加

し、元フランス料理カフェアンティムオーナーマダム 李家裕子氏を講師に、パンケーキの基本的な作り方から、ひと工夫加えたアレンジレシピまでを学びました。参加者同士の交流も深まり「自宅でも作ってみたい」「料理を通じて仲間づくりができる楽しかった」といった声が聞かれました。

◆詳しくは、遠野地区協議会 ☎89-2111(代)まで

三和地区協議会(介護講座)



介護に関する知識や技術の向上と、福祉への理解を目的に、7月16日、三和ふれあい館において開催しました。

当日は、23名が参加し、いわき市在宅医療・介護連携支援センター 保健技師 山縣紀子氏を講師に在宅医療や介護の現状、自分らしく暮らすための心構えなどについて学ぶことができ、参加者からは「今後の生活に役立てたい」といった声が聞かれました。

◆詳しくは、三和地区協議会 ☎86-2111(代)まで



編集後記

日が暮れるのが早くなり、夕暮れの空にうろこ雲が浮かぶ季節となりました。虫の音色も澄み、秋の訪れを告げています。

朝夕は幾分過ごしやすくなっていますが、日中はまだ夏の名残を感じます。寒暖差で体調を崩しやすい頃ですので、羽織物の用意やこまめな水分補給を心がけてお過ごしください。

広報委員一同

皆さまの声をお待ちしています!

いわき市社会福祉協議会では、市民の皆さまの声をお待ちしています。手紙、電子メールでお気軽に寄せください。

住所: いわき市平字菱川町1番地の3 (いわき市社会福祉センター内)

ホームページ▶ <https://www.iwaki-shakyo.com>

メールアドレス▶ master@iwaki-shakyo.com



いわき市社協
ホームページ